

【NEWS RELEASE】

2020年10月30日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社ソディックに「ESG/SDGs評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社ソディック（代表取締役社長：古川 健一）に対し、「ESG/SDGs評価融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs評価融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG（1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

今回の株式会社ソディックに対する評価結果は、「企業統治体制」、「環境配慮型の製品・サービスにおける取り組み」、「ローカル/グローバル・コミュニティへの配慮」において非常に高い水準であると判断されました。企業経営において良好なESG側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲が高いとの評価となりました。

ESG側面の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

ソディック長期経営計画の中で「多様な人財の育成」や「働きやすい職場環境作り」を掲げるとともに、取締役に女性が就任するなど、取締役会の多様性にも配慮しておられる点
2030年度に向けて、事業活動に伴う温室効果ガス排出量総量を26%削減（2013年度比）する目標を設定し、製品の提供を通じた環境問題への貢献として、省エネルギー・省資源・廃棄物削減に貢献する製品や、生分解性プラスチック対応成形機等を開発しておられる点
事業に関連する社会的課題解決の取組として、障がい者の能力開発訓練を行う「吉備 NC 能力開発センター」への出資や、最近では自社の技術を活かしてフェイス・シールドの開発及び寄贈をされている点

加えて、事業を通じて、SDGsが示す「目標7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「目標12：つくる責任 つかう責任」等の達成に向けた意欲をお持ちです。

三井住友銀行では、「ESG/SDGs評価融資」により、お客様のESG/SDGsへの取組を、金融を通じて支援してまいります。



フェイスシールドの開発



生分解性プラスチック対応射出成形機の開発

<ご参考>

1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。